

石田茂作 幼少 佛敎考古學者、文學博士。明治二十七年十一月十日愛知縣岡崎生れ、昭和五十一年八月十日歿（二八九—一九七七）。號瓦礫洞人瓦礫洞散人。大正七年東京高等師範學校國語漢文科卒。その後島地大等、三宅米吉、高橋健台、中川忠順、關野貞等、に學ぶ。昭和十年東京帝室博物館鑑査官、戰後國立博物館勤務を經り、二十一年奈良國立博物館館長。法隆寺再建説を實證した。四十九年文化功勞者。

著書に、『中尊寺と藤原四代—中尊寺學術調査報告』（合著・朝日新聞社編、昭和二十五年八月二十日朝日新聞社）、『正倉院伎樂面の研究』（昭和二十五年十一月十日美術出版社）、『飛鳥隨想』（昭和四十七年四月二十五日學生社）等。

